

知っていますか？ 法テラス



Q 法的トラブルに巻き込まれてしまいました。どこに相談すればいいのかわかりません。また、弁護士や司法書士に依頼した場合、費用面にも不安があります。どうしたらいいですか。

A 何らかの問題を抱え、「誰に相談すればいいかわからない」「経済的負担が心配で相談できない」「近くに相談窓口がない」といった悩みを抱えているときの相談先の1つとして、「法テラス」(正式名称：日本司法支援センター)があります。法的トラブルの解決を目的に、全国どこでも情報やサービスを受けられるよう設置されています。

「法的トラブル」とは一般的に、相続・離婚・借金整理・ヤミ金・携帯サイトからの請求・訪問販売などの契約・クーリングオフ・解雇・給料未払い・賃貸借契約・年金・社会保障・事故・年老いた両親の判断能力・犯罪被害などに関するトラブルを指しますが、法的トラブルかどうか分からない場合でも気軽にご相談ください。

法テラスでは、トラブルの内容によって弁護士会・司法書士会・地方自治体・各種相談機関などの中から最も適した窓口を案内しています。自分自身でトラブルに対処したい場合にも、問題解決に役立つ情報を提供しており、相談には無料で応じています。

また、経済的な理由で専門家に依頼できない人のために「民事法律扶助制度」で無料法律相談や弁護士費用の立て替えなどの支援をしています。

法的トラブルに対する心配事があった場合には、ぜひ法テラスの利用をご検討ください。

法テラスコールセンター(☎0570-078374・平日：午前9時～午後9時、土曜日：午前9時～午後5時)

法テラス千葉(☎050-3383-5381・平日：午前9時～午後5時)

法テラスのホームページ(<http://www.houterasu.or.jp>)でも、トラブルの内容について簡単なQ&Aを見ることができますので参考にしてください。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。

エコドライブのポイント

自動車は便利である反面、ガソリンや軽油でエンジンを動かす際に、大気汚染の原因となる有害な物質や地球温暖化の主な原因といわれるCO₂(二酸化炭素)が大量に排出されます。

外出の際は、できる限り電車・バスなどの公共交通機関や自転車・徒歩での移動を優先し、車を運転する際は、次のことに注意してエコドライブ(環境に配慮した運転)を心掛けましょう。

無用なアイドリングをしない

10分間のアイドリングで、約140ccの燃料が浪費されます。

急発進・急加速をしない

10回の急発進で約170cc、10回の急加速で約110ccの燃料が浪費されます。

交通状況に応じた安全な定速走行に努める

減速・加速を繰り返し速度を変動させて走行した場合、100kmの走行で約210ccの燃料が浪費されます。

確実な点検・整備を実施する

タイヤの空気圧低下、エレメント(エンジンのエアフィルター)の詰まりは燃料を浪費させます。空気圧0.5kgf/cm²減のタイヤで100km走行した場合、約240ccの燃料が浪費されます。

不要な荷物を積まない

10kgの不要な荷物を載せて100km走行した場合、約21ccの燃料が浪費されます。

計画的なドライブをする

道に迷うなど、10分間余計に走行すると約350ccの燃料が浪費されます。

このほか、減速時のエンジンブレーキ活用や、エアコンの適正使用、買い替え時の低公害車選びなどにも心掛けましょう。

エコドライブは、燃料代の節約や安全運転にもつながります。多くの面で有益ですので、ぜひ実践してください。



※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。